



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社川金ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 信吉  
(コード番号 5614 東証第二部)  
問合せ先 取締役経営管理部長 青木 満  
(TEL. 048-259-1111)

**特別損失の計上並びに第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異  
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は本日開催の取締役会において特別損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 12 日に公表しました平成 30 年 3 月期第 2 四半期の連結業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想において、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社の連結子会社ののれん、有形固定資産等について、当該子会社の収益力の低迷により将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 1,449 百万円を特別損失に計上することといたしました。

上記に関連して、当社の個別決算において関係会社株式評価損 669 百万円を計上することといたしました。なお、当該関係会社株式評価損につきましては連結損益への影響はありません。

2. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前 回 発 表 予 想 (A)	15,000	500	500	260	13.12
実 績 (B)	16,782	808	938	△920	△46.47
増 減 額 (B-A)	1,782	308	438	△1,180	
増 減 率 (%)	11.9	61.6	87.6	—	
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	13,586	502	△176	△278	△14.08

(注) 平成 29 年 3 月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、平成 29 年 3 月期第 2 四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

3. 平成30年3月期通期の連結業績予想修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	31,000	1,600	1,600	900	45.42
今回修正予想(B)	32,500	2,300	2,300	100	5.05
増減額(B-A)	1,500	700	700	△800	
増減率(%)	4.8	43.8	43.8	△88.9	
(参考)前期実績 (平成29年3月期)	31,981	2,165	2,041	755	38.15

4. 修正理由

(1) 平成30年3月期第2四半期の連結業績予想と実績値の差異

素形材事業の自動車部品及び土木建築機材事業の維持補修関連の売上高が計画以上に増加するとともに、粗利率も改善したため営業利益が増加しました。また、為替差益の計上により経常利益も増加しましたが、特別損失に減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上することとなりました。

(2) 平成30年3月期通期の連結業績予想の差異

下期におきましても素形材事業の自動車部品及び土木建築機材事業の維持補修関連の売上高が堅調に推移することが見込まれるうえ、利益率の改善も見込まれることから、当初計画よりも営業利益及び経常利益は増加する見込みであります。

しかしながら、第2四半期で計上しました減損損失により、親会社株主に帰属する当期純利益が減少する見込みであります。

(注) 上記の業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上